

殿方大浴場 / 露天風呂・風の庵露天風呂	禁忌症及び入浴上の注意事項揭示表	婦人大浴場 / 露天風呂
<p>1. 温泉利用施設名称 ホテル南風荘</p> <p>2. 源泉名 湯本温泉(温泉名) 台帳番号 湯本 第73号</p> <p>3. 泉質 アルカリ性単純温泉 (旧泉名 単純温泉) アルカリ性 低張性 高温泉</p> <p>4. 泉温 温泉 57.6 浴槽</p> <p>5. 温泉の成分 知覚的試験 無色透明無臭 P H 8.6 有機物(COD) mg/kg 誘導率 1183.0 μs/cm 蒸発残留物 706.0 mg/kg 成分総計 789.0 mg/kg</p>	<p>1. 禁忌症及び適応症 温泉の医治効用は、その温度その他の物理的因子、科学的成分、温泉地の地勢、気候、利用者の生活状態の変化 その他諸般の総合作用に対する生体反応によるもので、温泉の成分のみによって、 各温泉の効用を確定する事は困難であるが、当温泉の禁忌症、適応症はおおむね次のとおりです。</p> <p>一般的禁忌症 急性疾患(特に熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、 高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(特に初期と末期)</p> <p>泉質別禁忌症 -----</p> <p>一般的適応症 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔病、冷え性、 病後回復期、疲労回復、健康増進</p> <p>泉質別適応症 -----</p>	<p>1. 温泉利用施設名称 ホテル南風荘</p> <p>2. 源泉名 湯本温泉(温泉名) 台帳番号 湯本 第56号</p> <p>3. 泉質 アルカリ性単純温泉 (旧泉名 単純温泉) アルカリ性 低張性 高温泉</p> <p>4. 泉温 温泉 38.4 浴槽</p> <p>5. 温泉の成分 知覚的試験 無色透明無臭 P H 9.0 有機物(COD) mg/kg 誘導率 534.0 μs/cm 蒸発残留物 326.0 mg/kg 成分総計 355.0 mg/kg</p>
<p>陽イオン mg/kg</p> <p>リチウムイオン (Li+) 0.04 ナトリウムイオン (Na+) 223.0 カリウムイオン (K+) 2.45 マグネシウムイオン (Mg2+) 0.17 カルシウムイオン (Ca2+) 17.8 ストロンチウムイオン (Sr2+) 0.05 第一鉄イオン (Fe2+) 0.00 アルミニウムイオン (Al3+) 0.01 マンガンイオン (Mn2+) 0.00 亜鉛イオン (Zn2+) 0.00</p>	<p>2. 入浴の方法及び注意 温泉には老化現象が認められ、地中から湧出した直後の新鮮な温泉が最も効用があるといわれているが、 それぞれの泉質に適する用い方をしなければかえって疾病に不利に働く場合がある。 したがって浴用上の注意事項はおおむね次のこととする。</p> <p>温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。 その後は1日当たり2回ないし3回までとする。</p> <p>温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とする。</p>	<p>陽イオン mg/kg</p> <p>リチウムイオン (Li+) 0.01 ナトリウムイオン (Na+) 95.5 カリウムイオン (K+) 0.72 マグネシウムイオン (Mg2+) 0.04 カルシウムイオン (Ca2+) 4.28 ストロンチウムイオン (Sr2+) 0.03 第一鉄イオン (Fe2+) 0.02 アルミニウムイオン (Al3+) 0.01 マンガンイオン (Mn2+) 0.00 亜鉛イオン (Zn2+) 0.01</p>
<p>陰イオン mg/kg</p> <p>水酸イオン (OH-) 0.49 フッ素イオン (F-) 310.0 塩素イオン (Cl-) 42.8 硫酸イオン (SO2-) 84.0 炭酸水素イオン (HCO3-) 2.52 炭酸イオン (CO3-) 0.45 硝酸イオン (NO3-) 0.00 リン酸イオン (HPO42-) 6.76 メタケイ酸イオン (HSiO3-) 2.41 メタホウ酸イオン (BO2-) 2.41</p>	<p>温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり(湯さわりまたは浴湯反応)が現れることがある。 「湯あたり」の間は、入浴回数を減じまたは入浴を中止し、湯あたり症状の回復を待つこと。</p> <p>以上のほか、入浴には次の諸点について注意すること。 ア、入浴時間は、入浴温度によりことなるが、始めは3分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。 イ、入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。 ウ、入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない(湯ただれを起こしやすい人は逆に、 入浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい)。 エ、入浴後は、湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。 オ、次の疾病については、原則として高温浴(42℃以上)を禁忌とする。 高度の動脈硬化症、高血圧症、心臓病 カ、熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。 キ、食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。 ク、飲酒しての入浴は特に注意する。</p>	<p>陰イオン mg/kg</p> <p>水酸イオン (OH-) 0.17 フッ素イオン (F-) 0.21 塩素イオン (Cl-) 110.0 硫酸イオン (SO2-) 19.5 炭酸水素イオン (HCO3-) 68.6 炭酸イオン (CO3-) 5.26 硝酸イオン (NO3-) 1.30 リン酸イオン (HPO42-) 0.00 メタケイ酸イオン (HSiO3-) 7.25 メタホウ酸イオン (BO2-) 1.77</p>
<p>遊離成分 mg/kg</p> <p>メタケイ酸 (H2SiO3) 85.7 メタホウ酸 (HBO2) 9.83 遊離二酸化炭素 (CO2) 0.25</p>	<p>3. 禁忌症、適応症決定年月日 平成16年7月5日</p>	<p>遊離成分 mg/kg</p> <p>メタケイ酸 (H2SiO3) 36.8 メタホウ酸 (HBO2) 2.86 遊離二酸化炭素 (CO2) 0.07</p>
<p>微量成分 mg/kg</p> <p>銅イオン (Cu2+) 0.00 鉛イオン (Pb2+) 0.00 総水銀 (Hg) 0.000 総ヒ素 (As) 0.560</p>	<p>4. 決定者 神奈川県小田原保健所長</p>	<p>微量成分 mg/kg</p> <p>銅イオン (Cu2+) 0.00 鉛イオン (Pb2+) 0.00 総水銀 (Hg) 0.000 総ヒ素 (As) 0.172</p>
<p>6. 温泉の分析年月日 平成9年12月24日</p> <p>7. 分析者 神奈川県温泉地学研究所</p>	<p>6. 温泉の分析年月日 平成9年12月24日</p> <p>7. 分析者 神奈川県温泉地学研究所</p>	<p>6. 温泉の分析年月日 平成9年12月24日</p> <p>7. 分析者 神奈川県温泉地学研究所</p>